

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
103-96	高等学校	地理歴史科	地理総合	
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名		
46 帝国	地総-707	高校生の地理総合		

1. 編修の基本方針

●教育基本法第2条に示される教育の目標を達成するために、下記のような基本方針に基づいて編修した。

(1)世界各地の多様な習慣や価値観を理解し、地球的課題の解決に向けて主体的に取り組む態度を養う教科書

- ・ 世界各地の多様な習慣や価値観を理解できるよう、2部1章では、まず人々の生活文化と関わりの深い地理的環境を認識させ、その上で、各地の人々の生活文化にどのような特色や背景があるのか、具体的な記述とそれを補う写真で理解できるようにした。さらに、イラストや臨場感のある写真を用いることで、生徒がその国・地域に対してイメージを膨らませやすくなるよう工夫した。
- ・ 2部2章では、様々な地球的課題について発展途上国や先進国、日本など立場によって異なる状況と、解決に向けた国際協力の重要性が理解できるようにした。
- ・ 生徒が主体的に取り組む態度を養うことができるよう、学習事項を活用して生徒自身の思考を促す特設「アクティビティ」を設けた。

(2)思考力・判断力・表現力を育成できる教科書

- ・ 思考力・判断力・表現力を育成することができるよう、学習を見通す「主題」や「学習課題」、学習内容を振り返る「確認」「説明」「節(事例)の振り返り」などを随所に設けた。
- ・ 写真や図表から地理的・地域的特色を考察する力を養うことができるよう、写真や図表の読み解きを促す「資料活用」を随所に設けた。
- ・ 部や章、節ごとに学習内容を振り返ることができるよう、学習事項を活用した問いで構成された特設「まとめ」を設けた。

2. 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
1部 地図や地理情報システムでとらえる現代世界 1章 地図や地理情報システムと現代世界 1節 地球儀と地図 2節 地図と地理情報システム	●地図やGISの活用といった基礎的・基本的な地理的技能を習得できるよう、特設「SKILL」を設けた。また、体験を通して理解が深められるよう、デジタル教材を閲覧・利用するためのQRコードを随所に配した(第2号)。	p.9,16,17, 18,19,20-21
2章 結びつきを深める現代世界 1節 現代世界の国家と領域 2節 地図から見る国内や国家間の結びつき	●我が国を愛する態度を養い、領土をめぐる問題の平和的な解決方法を考えるための基礎的な知識を習得できるよう、日本の領土について、図や写真を用いて丁寧に解説した(第5号)。 ●国家間の結びつきや地域的な枠組みについての理解が深まるよう、具体事例をもとに学習できるようにした。また、交通・通信や観光など、グローバル化が進む世界の様子を地図や写真などで示した(第1号)。	p.22-25 p.26-33

<p>2部 国際理解と国際協力</p> <p>1章 生活文化の多様性と国際理解</p> <p>序説 生活文化の多様性</p> <p>1節 世界の地形と人々の生活</p> <p>2節 世界の気候と人々の生活</p> <p>3節 世界の産業と人々の生活</p> <p>4節 世界の宗教・民族・言語と人々の生活</p> <p>5節 多様な生活文化と地理的環境</p> <p>事例1 産業①経済発展による生活文化の変化 —東アジア—</p> <p>事例2 結びつき①他地域との結びつきが生活文化に与えてきた影響 —東南アジア—</p> <p>事例3 宗教・歴史①ヒンドゥー教と生活文化の関わり —インド—</p> <p>事例4 自然環境①乾燥地域で育まれてきた生活文化の変化 —中央アジア・西アジア・北アフリカ—</p> <p>事例5 宗教・歴史②植民地支配の歴史と生活文化の変化 —サハラ以南アフリカ—</p> <p>事例6 宗教・歴史③伝統の継承と生活文化の関わり —ヨーロッパ—</p> <p>事例7 自然環境②寒冷な気候と生活文化にみられる工夫 —ロシア—</p> <p>事例8 産業②産業技術の発展と生活文化の関わり —アメリカ合衆国—</p> <p>事例9 宗教・歴史④開発の歴史と生活文化の関わり —ラテンアメリカ—</p> <p>事例10 結びつき②結びつきの変化をもたらす生活文化への影響 —オセアニア—</p>	<p>●世界各地の生活文化への理解が深まるよう、写真やイラスト、模式図、図表を豊富に用いて視覚的に理解できる構成にした（第1号）。</p> <p>●世界各地の生活文化への理解が深まるよう、地形や気候などの自然環境や、産業や宗教・民族・言語などの社会環境といった地理的環境から、考察するための様々な視点を身につけられる構成にした（第1号）。</p> <p>●世界からみた日本の生活文化に加え、自然環境、産業、宗教・歴史、結びつきをテーマとする事例を取り上げ、世界各地の生活文化の多様性を学習できるようにした。また、各項(見開き)の導入では、特色ある生活文化を捉えた臨場感のある写真を掲載し、本文はその写真を切り口にして記述した（第5号）。</p> <p>●世界各地の生活文化の多様性を認識し、尊重する態度を養うために、イラストを用いた地図や親しみやすい写真から生徒が興味関心をもてるよう工夫した。また特設「アクティビティ」では、行ってみたい国を選択して旅行を計画することで、一つの国をより深められる活動を取り上げた（第5号）。</p> <p>●日本との共通点や相違点を意識させる記述やコラム、問いを設け、多様な習慣や価値観をもつ人々との共生について考えを深めることで、2章の地球的課題を学習するための素地を育める構成にした（第5号）。</p>	<p>p.36-157</p> <p>p.36-67</p> <p>p.68-157</p> <p>p.72-73, 84-85,94-95, 102-103, 110-111, 118-119, 128-129, 134-135, 142-143, 150-151, 160-161</p> <p>p.36-157, 158-159</p>
<p>2章 地球的課題と国際協力</p> <p>序説 複雑に絡み合う地球的課題</p> <p>1節 人口問題</p> <p>2節 食料問題</p> <p>3節 都市・居住問題</p> <p>4節 感染症・衛生問題</p> <p>5節 資源・エネルギー問題</p> <p>6節 地球環境問題</p>	<p>●持続可能な社会の形成に参画する態度を養うことができるよう、食料問題や感染症・衛生問題、地球環境問題など、地球的課題について具体的な事例を数多く取り上げた（第3号）。</p> <p>●地球的課題をグローバル・ローカルな視点でとらえられるよう、さまざまなスケールの地図や写真、比較できるグラフなどを豊富に掲載した（第1号）。</p> <p>●異なる立場の相手を尊重し、ともに協力する態度を養うことができるよう、様々な地球的課題について、先進国や発展途上国および日本といった立場や環境の異なる事例を複数取り上げた（第3号）。</p> <p>●持続可能な社会を形成するために、生徒が主体的に解決策を考えて実践する態度を養うこと</p>	<p>p.162-183</p> <p>p.162-183</p> <p>p.166-167, 168-169, 172-173, 178-179</p> <p>p.186-187</p>

	<p>ができるよう、自分たちができることを考える特設「アクティビティ」を設けた（第3号）。</p> <p>●さまざま地球的課題は複雑に絡み合っており、解決に向かうためには視野を広くもつ必要性があることを意識させるため、SDGsを用いたコーナー「関連するSDGsの目標」を各課題に設けた。（第3号）。</p> <p>●自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養えるよう、様々な地球環境問題を紹介しつつ、解決に向けての国際的取り組みも丁寧に取上げた（第4号）。</p>	<p>p.167,169,173,175,179,183</p> <p>p.162-163,180-183</p>
<p>3部 持続可能な地域づくりと私たち</p> <p>1章 自然環境と防災</p> <p>1節 日本の自然環境</p> <p>2節 地震・津波や火山活動による災害と防災</p> <p>3節 気象災害と防災</p> <p>4節 自然災害への備え</p>	<p>●自然災害への対策が地域で異なることが理解できるよう、具体的な地域事例を取り上げ、各地の取り組みを示した（第1号）。</p> <p>●自然災害の被害を軽減するために協力し合う態度を養い、自然災害による被害を最小限にすることができるよう、日ごろからの協力や支援体制の整備が大切であることを本文や図表などで丁寧に解説した（第3号）。</p> <p>●我が国の伝統や文化を尊重する態度を養うことができるよう、防災に関わる昔からの知恵や様々な対策方法について、コラム「クローズアップ」で紹介した。（第5号）。</p>	<p>p.192-193,196-197,202-203</p> <p>p.198-199,204-205,206-207</p> <p>p.199,203,207</p>
<p>2章 生活圏の調査と地域の展望</p>	<p>●自ら発見した疑問や地理的な課題を多面的・多角的な視野から考察する態度を養うことができるよう、調査テーマの設定方法や調査の手順、調査結果の発表方法について具体的な事例とともに提示した（第1号）。</p> <p>●思考力・判断力・表現力を育成することができるよう、自分の考えをまとめたり発表したりする言語活動を示した（第2号）。</p> <p>●持続可能な社会の形成のために主体的に参画する態度を養うことができるよう、身近な地域にはどのような課題があり、その課題に対してどのような解決方法が考えられるかについて、調査結果のまとめや発表の場における意見交換を促す内容とした（第3号）。</p>	<p>p.214-223</p> <p>p.222-223</p> <p>p.222-223</p>

3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

(1)すべての生徒に読みやすい教科書

- ①色覚に特性のある生徒でも識別しやすい色を使用した。
- ②本文や側注、キャプションなどの文字については、文字をはっきりと読み取ることができるユニバーサルデザインフォント(UD フォント)を使用した。

(2)環境に優しい素材と堅牢な造本

- ①紙は環境に配慮した森林認証紙であり、かつ裏写りがしない用紙を使用した。
- ②インキには、再生産が可能な植物由来の油などを原料とするインキを使用した。
- ③使用期間の間、破損することがないように、堅牢なつくりにした。

編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表, 配当授業時数表)

受理番号	学校	教科	種目	学年
103-96	高等学校	地理歴史科	地理総合	
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名		
46 帝国	地総-707	高校生の地理総合		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

●グローバル化する国際社会に主体的に参画し、国際理解・国際協力の重要性を理解して、平和で民主的な国家及び社会を形成するために必要な資質・能力を育成できる教科書となるよう以下の点に配慮した。

1. 日本や世界の諸地域の多様な生活文化を通して国際理解の重要性や意義を学べる教科書

- ・2部1章では、地形や気候、産業、宗教・民族・言語と人々の生活の関わりを考察の視点として取り上げるとともに、世界からみた日本の生活文化と、自然環境、産業、宗教・歴史、結びつきをテーマとする事例を取り上げ、世界各地の多様な生活文化への理解を深められるようにした。各事例については、世界の様々な生活文化とその背景となる地理的環境を取り上げ、臨場感のある写真やイラストを用いて、生徒が国際理解の重要性や意義を認識できるよう配慮した。
- ・2部1章5節「2 世界からみた日本の生活文化」では、日本の衣食住を中心とした生活文化について取り上げ、世界の多様性を学ぶなかで、日本との共通点や相違点を見いだせるよう配慮した。
- ・世界的な視野からみた日本の特徴を理解できるよう、コラム「JAPAN」を随所に設けた。

2. 地球的課題を日本や生徒自身の生活圏に結びつけ、持続可能な社会づくりに参画する態度を養う教科書

- ・2部2章では、地球的課題に対する世界の現状と国際協力の重要性を理解するとともに、持続可能な社会づくりに向けて自分たちができることを考えるための特設「アクティビティ」を設けた。SDGs と結びつける内容にすることで、生徒が様々な課題を身近なものとしてとらえられるよう配慮した。
- ・3部1章では、コラム「クローズアップ」を随所に設け、自然災害が発生するしくみや、持続可能な社会をつくるための見方や考え方が、昔からの日本人の生活のなかにもみられることを理解できるようにした。
- ・3部2章では、生徒自身が生活圏にみられる地理的な課題を解決できるよう、調査方法を丁寧に解説した。

3. 地理的な見方・考え方を働かせながら考察できる教科書

- ・各章や節の冒頭では、「場所」「人間と自然の関係」など、学習を進める際に必要となる視点を踏まえた「主題」を設定し、地理的な見方・考え方を働かせながら学習できるよう配慮した。
- ・各項(見開き)の導入には「学習課題」を設定し、どのような点に着目しながら学習を進めていけばよいか、わかるようにした。
- ・各節(事例)末には「節(事例)の振り返り」のコーナー、各項末には「確認」と「説明」のコーナー、部や章などの区切りとなる箇所には特設「まとめ」を設け、地理的な見方・考え方を働かせながら学習内容をまとめたり、説明したりする活動を充実させた。

4. 資料の活用を通して思考力・判断力が育成できる教科書

- ・写真や図表を充実させるとともに、読み解きを促す作業「資料活用」を随所に設け、資料を活用するための着眼点や、資料どうしの比較などを示すことで、資料活用を通して思考力・判断力が育成できるよう配慮した。
- ・図版や写真に伴い、地図帳の活用を促す作業「地図帳」を随所に設けた。

5. 地理的技能を習得し活用できる教科書

- ・地理的技能を習得する特設「SKILL」を随所に設けた。特に地図や地理情報システム(GIS)に関わる技能を充実させ、習得した技能については随所で活用できるようにした。
- ・身につけた地理的技能や学習した内容を活用しながら、設定されたミッションをこなしながら生徒自身の考えをまとめ、説明することができる特設「アクティビティ」を2部1章、2部2章、3部1章に設けた。

6. 現代世界の地理的認識を深められる教科書

- ・本文は平易に記述するとともに、随所に本文を補完する用語解説を配し、理解が深まるようにした。
- ・世界全体や州，国，都市など，様々なスケールで各地の生活文化や地球的課題を考察できるようにした。
- ・脚注には「Key Words」を配し，重要な学習項目が何かを一目で確認できるようにした。

2. 対照表

図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当時数
1部 地図や地理情報システムでとらえる現代世界	A (1)	p.6-11 p.12-21	2 2
1章 地図や地理情報システムと現代世界 1節 地球儀と地図 2節 地図と地理情報システム			
2章 結びつきを深める現代世界 1節 現代世界の国家と領域 2節 地図から見る国内や国家間の結びつき	A (1)	p.22-25 p.26-35	1 4
2部 国際理解と国際協力	B (1)	p.36-37 p.38-47 p.48-59 p.60-63 p.64-67 p.68-71 p.102-109, 128-133 p.72-83, 134-141 p.94-101, 110-127, 142-149 p.84-93, 150-157	1 4 5 2 1 1 3 5 4 4
1章 生活文化の多様性と国際理解 序説 生活文化の多様性 1節 世界の地形と人々の生活 2節 世界の気候と人々の生活 3節 世界の産業と人々の生活 4節 世界の宗教・民族・言語と人々の生活 5節 多様な生活文化と地理的環境 自然環境 (事例 4, 7) 産業 (事例 1, 8) 宗教・歴史 (事例 3, 5, 6, 9) 結びつき (事例 2, 10)			
2章 地球的課題と国際協力 序説 複雑に絡み合う地球的課題 1節 人口問題 2節 食料問題 3節 都市・居住問題 4節 感染症・衛生問題 5節 資源・エネルギー問題 6節 地球環境問題	B (2)	p.162-163 p.164-167 p.168-169 p.170-173 p.174-175 p.176-179 p.180-187	1 2 1 2 1 2 2
3部 持続可能な地域づくりと私たち	C (1)	p.188-189 p.190-199 p.200-205 p.206-213	1 5 3 3
1章 自然災害と防災 1節 日本の自然環境 2節 地震・津波や火山活動による災害と防災 3節 気象災害と防災 4節 自然災害への備え			
2章 生活圏の調査と地域の展望	C (2)	p.214-223	6
			計 68 時間